

企業庁経営戦略目標指標 令和3年度取組実績

基本理念：信頼の水で、地域の未来に貢献します

評価 ◎：目標（以上）を達成した。○：目標には達していないが、取組みが進んだ。▲：目標と実績が乖離している。－：精査中 ※：↑高いほど望ましい。↓低いほど望ましい

取組項目	指標		令和3年度		優位性 ※	取り組みの状況、課題	評価	今後の対応 (▲の指標)
			目標値	実績				
安全：安全で良質な水を供給します								
水質管理の強化	用水	水質基準適合率	100%	100%	↑	水質検査結果を浄水処理に適正に反映した。	◎	
水質管理の強化	用水	かび臭物質濃度水質基準比率年間平均値	75%	96%	↑	適切な臭気対策（活性炭注入等）を行い、臭気の低減に取り組んだ。	◎	
安全で安定した水の供給	用水	苦情発生件数	0件	97件	↓	活性炭を注入した時点で市町への情報提供とHP掲載を行ったが、住民の多くは当庁HPを閲覧されていなかった。	▲	令和3年度末に改定したマニュアルに基づき、住民が容易に閲覧できる方法で情報提供を行う
安全で安定した水の供給	工水	苦情発生件数	0件	0件	↓	苦情が出ないように、濁度および水素イオン濃度について、条例および運用目標を遵守している。	◎	
強靱：信頼を支える強靱なライフラインを構築します								
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	浄水施設の耐震対策の進捗	0箇所	0箇所	↑	・吉川新浄水場建設工事、馬淵浄水場既設半系統の耐震補強工事を実施した。 ・馬淵浄水場・水口浄水場耐震補強設計業務を発注した。	◎	
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	ポンプ所の耐震対策の進捗	6箇所	6箇所	↑	南津田導水ポンプ場・朝国導水ポンプ場耐震補強詳細設計を発注した。	◎	
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	管路の耐震化率 (耐震適合率)	39.0% (52.4%)	39.1% (52.6%)	↑	・日野ライン・蒲生日野ライン管路更新工事の実施した。 ・中主ライン・竜王ライン管路更新詳細設計の発注した。	◎	
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	工水	管路の耐震化率 (耐震適合率)	15.8% (18.7%)	15.2% (18.2%)	↑	・多賀敏満寺ライン・湖南団地ライン管路更新工事の実施した。 ・湖南団地ライン管路更新詳細設計を発注した。	○	
施設の浸水対策	用水	浸水対策の進捗	1箇所	0箇所	↑	吉川浄水場・石部増圧ポンプ場・水口浄水場・朝国導水ポンプ場の対策工事に着手した。（吉川浄水場の浸水対策工事は翌年度に完了工期を延期）	○	
施設の浸水対策	工水	浸水対策の進捗	1箇所	0箇所	↑	吉川浄水場・朝国増圧ポンプ場の浸水対策工事に着手した。（翌年度に完了工期を延期）	○	

企業庁経営戦略目標指標 令和3年度取組実績

基本理念：信頼の水で、地域の未来に貢献します

評価 ◎：目標（以上）を達成した。○：目標には達していないが、取組みが進んだ。▲：目標と実績が乖離している。－：精査中

※：↑高いほど望ましい。↓低いほど望ましい

取組項目	指標		令和3年度		優位性 ※	取り組みの状況、課題	評価	今後の対応 (▲の指標)
			目標値	実績				
持続：社会の変化に適応した持続可能な経営を推進します								
健全経営の維持	用水	経常収支比率	100%以上	114.9%	↑	4,501,975千円 / 3,919,267千円=114.9%	◎	
健全経営の維持	用水	給水収益に対する内部留保資金の割合	100%以上	210.1%	↑	8,709,171千円 / 4,144,843千円=210.1%	◎	
健全経営の維持	工水	経常収支比率	100%以上	115.4%	↑	1,076,340千円 / 932,452千円=115.4%	◎	
健全経営の維持	工水	給水収益に対する内部留保資金の割合	100%以上	545.4%	↑	5,186,872千円 / 951,086千円=545.4%	◎	
地域経済の活性化への貢献	共通	県内産バルブの使用率	100%	100%	↑	県内で生産されている規格のバルブを使用する工事については、全て県内で生産されたバルブを使用した。	◎	
人材育成と技術継承	共通	若手水道技術職員の資格取得件数	3.8件	4.6件	↑	・企業庁研修実施3箇年計画および資格取得3箇年計画を策定した。 ・3箇年計画に基づき本年度の実施計画を策定し、対象者に対して研修・資格取得を促し、ほぼ予定どおり取得できた。	◎	
環境に配慮した取り組み	共通	過去5年間のエネルギー使用原単位変化率対前年比	-1%	-0.3%	↓	・計画的更新に併せ高効率機器を導入しているが、目標達成に至る効果はなかった。 ・省エネに加え浄水場の特徴を活かした再エネの可能性について調査・研究を行う。	○	
環境に配慮した取り組み	共通	浄水発生土の有効利用率	100%	100%	↑	浄水発生土は全て建設リサイクル土として有効利用した。	◎	
地域、社会の理解促進	共通	水道事業見学者の理解度	90%	DVDによる貢献度100%	↑	R3年度は一部の期間を除き、浄水場見学を中止した。代わりに動画DVDを作製し、受水市町管内小学校へ案内した。	◎	